



教科名 : **TS 3 級整備**

2023年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期 : 2 年 D巡

科 目 : 自動車整備作業

時限数 : 20時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1/23	村上
FY19	シラバスメンテナンス	2/5	永居
FY20			
FY21			
FY22			
FY23			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

時期	2年D巡	単元	実習	教科名	TS3級整備	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書		発行日	2020年2月5日
※ 注1 総時限	20時限		教科担 当	見谷 哲		※ ● ■
※ 注2 授業時間	32時間	小山 純		※ ● ■		

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベース））

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

日産テクニカルスタッフ資格保有の自動車整備士として実務経験のある消耗部品の交換作業、また外装部品の交換作業ができるよう指導する。また部品検索（FAST）作業、またホイールバランスの調整ができるよう指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1. 各消耗部品の交換作業ができるよう習得する。
2. 部品検索（FAST）ができるよう習得する。
3. ホイールバランスの調整ができるよう習得する。
4. 外装部品の交換作業ができるよう習得する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

1. ベアで各消耗部品の交換作業ができるよう習熟する。
2. 1人で部品検索ができるよう作業し習熟する。
3. タイヤの点検を含め、バランス調整ができるよう作業し習熟する。
4. 車両や各部品を丁寧に扱うことができるよう理解し習熟する。
5. 各作業すべてにおいて安全作業を心がけて行えること。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習の評価は、レポート提出後に試験を行い、60点以上（工学科は70点以上）を合格とする

試験内容

実技試験：80%

①ホイールバランス調整作業 ②FAST部品検索

筆記試験：20%

①TS3級計算問題

5. 準備学習

1. 定期点検作業要領書であらかじめ点検内容を確認し、E.S.Mで車両の内容を調べておくこと。
2. 授業終了後、教員から指示された教科書の項目について復習を行うこと。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

1. ベアで各消耗部品の交換作業を理解させる。
2. 1人で部品検索ができるよう理解させる。
3. タイヤの点検を含め、バランス調整ができるよう理解させる。
4. 車両や各部品を丁寧に扱うことができるよう理解させる。
5. 各作業すべてにおいて安全作業を心がけて行えるよう理解させる。

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

時期	D巡	単元	実習	教科名	TS3級整備
----	----	----	----	-----	--------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	フロアジャッキでの作業	<ul style="list-style-type: none"> 必ずリフトポイントに当てて作業を行うこと。 作業を行うときは声かけをすること。 返事がないと作業をしないこと。 		
2	リジット・ラックの使用法	<ul style="list-style-type: none"> 当てるポイント以外で使用しないこと。 4つの高さを必ずそろえること。 ロックピンの確認を必ず行うこと。 車重が均等にかかっていることを確認すること。 		
3	エンジン始動時の声かけ			

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

座学教室



①クリッパー 5台準備 1台あたり4～5名